



中体連駅伝：3校同時のスタート

《 筑前地区中学校駅伝競走大会 優勝！ 県大会出場！ おめでとうございます。 》

10月13日(水) 博多の森陸上競技場にて、津屋崎中学校陸上部の女子駅伝チームが、筑前地区中学校駅伝競走大会で見事に優勝しました。筑前地区の中学校33校が出場する中、津屋崎中学校が1位でゴールした走りを見て、大変感動しました。団体で筑前地区優勝は、夏季中体連の大会で男子バスケットボール部に次いで、津屋崎中学校陸上部の女子駅伝チームが、二つ目となりました。大規模校に比べて生徒数や部員数が少ない、中規模校である本校が優勝したのを見て、運営していた他校の先生も、「そんなに生徒数や部員が多い学校でもないのに、すごいことだ。」と褒めておられました。レースの内容は、1区の花田桜子さんが4位で、2区の中田詩央梨さんにつなぎ、中田さんが2人ぬいて順位を上げ2位で、3区の行武万魅さんにつなぎ、行武さんが1人ぬいて1位になり、4区のハワース麻椰さんにつなぎ、ハワースさんは1位をまもり、5区の末廣葵子さんも1位をまもりきり、2位との差を広げてゴールしました。2位の粕屋東中とは52秒の差をつけて勝ちました。5人とも区間賞(区間1位)をとれませんでした。が、昨年のこの大会の後、2年生だった花田さん・末廣さんが「来年は優勝します。」と話したとおり、1年間いろいろ困難があったと思いますが、有言実行して、成し遂げたことは素晴らしいことだと思います。

【↓：筑前地区中学校駅伝競走大会の様子】



《 宗像区中学校新人柔道大会、男子・女子、優勝！ 筑前地区大会出場おめでとうございます。 》

10月9日(土) 福津市武道場にて、津屋崎中学校の柔道部が、宗像区中学校新人柔道大会で優勝しました。男子は、決勝で城山中との対戦となり、一敗で向かえた中堅の試合で、浦さんが引き分け、副将の村瀬さんが有効をとられ、苦しい展開でしたが残り7秒で、相手を投げて(体落)逆転の一本勝ちをしました。1勝1敗2引き分けで、大将戦となり、大将の大野さんが抑え込みで一本勝ちし、2勝1敗2引き分けで、城山中に勝って優勝しました。勝とうとする諦めない必死さが伝わる試合でした。女子は他校のメンバーがそろわずに、不戦勝で優勝となりました。

【↓：宗像区中学校新人柔道大会の様子】



《 宗像区中学校新人野球大会、準優勝！ 筑前地区大会出場！ おめでとうございます。 》

津屋崎中学校野球部が、10月2日(土)・9日(土) みずがめの郷(久末総合公園)・福津市総合運動公園「なまずの郷」野球場で行われた宗像区中学校新人野球大会で、決勝まで勝ち進み、準優勝しました。一回戦の中央中との試合では、4回に、野中さんが試合を決めるスリーランホームランを打ち、その後も得点を重ね、8対1となり6回コールドで勝利しました。準決勝の日の里中との試合は、5回まで1対0でリードしていましたが、6回表に追いつかれ、延長戦のタイブレーク(判定戦)となりました。9回表に相手に2点取られ、苦しい展開でしたが、ピッチャーの野中さんが粘り強く投げぬき、その裏2点取って追いつきました。11回裏、津屋崎中の攻撃で、1・2塁のランナーをバントで進め、1アウト2・3塁からキャプテンの松尾さんが、サヨナラのヒットを打ち、4対3で3時間以上にも及ぶ緊迫した接戦を制しました。決勝戦は、福間東中との試合で、惜しくも2対3で敗れましたが、どの試合も、どんな状況になっても、諦めずに最後まで粘り強く全力でプレーする姿が、とても感動的でした。津屋崎中の底力を見ることが出来ました。

【↓：宗像区中学校新人野球大会の様子】



《 福津の仕事人事業が行われました。 》

10月4日(月) 津屋崎中学校にて、福津市で事業をされている商工会青年部の方々(23事業所から、経営者・次期経営者等の方々)に来ていただき、仕事におけるやりがいや、苦勞されていることなどについて、全体講話・少人数対話授業や、体験授業などを、中学校2年生対象に行っていただきました。本年度、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、職場体験学習ができなかった2年生は、事業を経営されている大人の話や、目を輝かせて聞き入り、積極的に質問をしたり、体験活動をさせてもらったりして、とても喜んでいました。今年度、世話役でお話をいただいた松田晋介さんの、「あきらめずに一生懸命頑張っていけば、いつか道は開けてくる。」という中学生に向けての話が、生徒たちにとって受け止められていました。

【↓：当日の様子】

